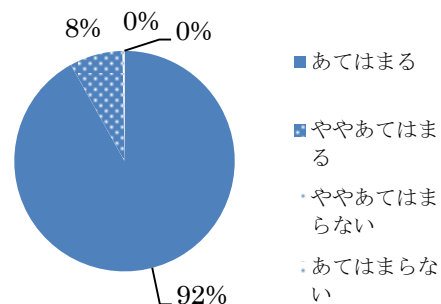


# 1 学年 進路だより

第1号 平成29年5月12日発行

## 1 初心忘るべからず

### 何事においても 全力で取り組んだ



皆さんが本校に入学して1ヶ月が経ちました。祇園北高校の生活に、少しずつ慣れてきましたか？

さて、左のグラフは、江田島学習合宿直後のアンケート結果です。他にも、「挨拶ができた」「時間を守ることができた」「人の気持ちを考えて行動できた」など、全ての項目で肯定的な回答が9割を超えており、合宿を通して北高生になるための良いスタートが切れたように思います。

合宿の最後に、学年主任の沖本先生が、「学校に帰ってからも継続することが大切」とおっしゃいました。定期考査を前に、初心を思い起こしましょう。

## 江田島学習合宿の感想とこれからの学校生活に生かしていきたいこと（生徒の作文より）

クラスに同じ中学校の生徒が一人しかおらず、新しい友達ができるか不安だったけど、合宿中の Cutter 研修や、集団行動、校歌練習などを通して、クラスのほとんどの人たちと話をすることができ、仲を深めることもできました。Cutter 研修、集団行動、校歌練習などで学んだ、大きな声を出し、他人に任せず、一人一人が全力を出すということを普通の授業ではもちろん、学校行事などで生かしたいです。そして全力を出したあとは、他人と協力して、楽しく、達成感があるような学校生活にしていきたいです。

Cutter 体験や集団行動などクラスで協力しないとできないことを、お互いにコミュニケーションをとりながらすることができました。部屋で同じだった人とたくさんコミュニケーションをとることもできました。ただ挨拶は他校の生徒にあまりできなかったのが課題だと思いました。合宿で学んだ「全力・協力」というモットーから得たたくさんの人達とのコミュニケーションや協力の大切さと、課題に挙げた挨拶の部分をこれから良くなるように、日々の学校生活で生かしていきたいと思います。生かせれば、行事もすっかり成功に導けると思います。また、1年間に限らず、高校を卒業するまで忘れないように日々頭の中で思い浮かべておくようにしたいです。

## 2 高校生の学習スタイルで悩み解消

(1) 学習習慣の確立について（スタディーサポート4/18実施の結果より）

### ① 祇園北の1年生・高校生活についての悩み

- 1位 部活動と学習の両立が出来るか不安 (101人)
- 2位 授業の進度についていけるか不安 (99人)
- 3位 学習や生活のリズムがうまく保てるか不安 (56人)



みんな悩みを持っています

### ② 帰宅後学習を開始する時間

(単位%)

	祇園北1年4月	高1秋 成績◎	高1秋 成績▲
帰宅後すぐ	8	8	4
夕食後	29	8割	19
寝る前	17	20	24
翌朝起きてから	2	3	2
特に決まっていない	30	14	22
自宅学習はしていない	14	6	29

成績◎ GTZ : S1~S3  
(難関大合格レベル)  
成績▲ GTZ : D1~D3  
(基礎・基本養成レベル)

ベネッセのデータによると、中学校時代には、約3割の人が、帰宅後に学習を始める時間を決めていなかったようです。しかし、高校では学習内容が難しくなり、範囲も広がるため、中学校と同じような学習習慣では、思うような結果を出すことができません。

上の表の色が付いている所を見て下さい。高1秋の段階で成績が良好な人(◎)のうち、8割が帰宅後の学習を開始する時間を決めていいることがわかります。あなたは、どうですか？

この他にも、高1秋に成績が良好な人の約6割が平日に1時間以上、約5割が休日に3時間以上の自宅学習をしているというデータもあります。(ベネッセ 2016年スタディーサポート第2回全国集計より)

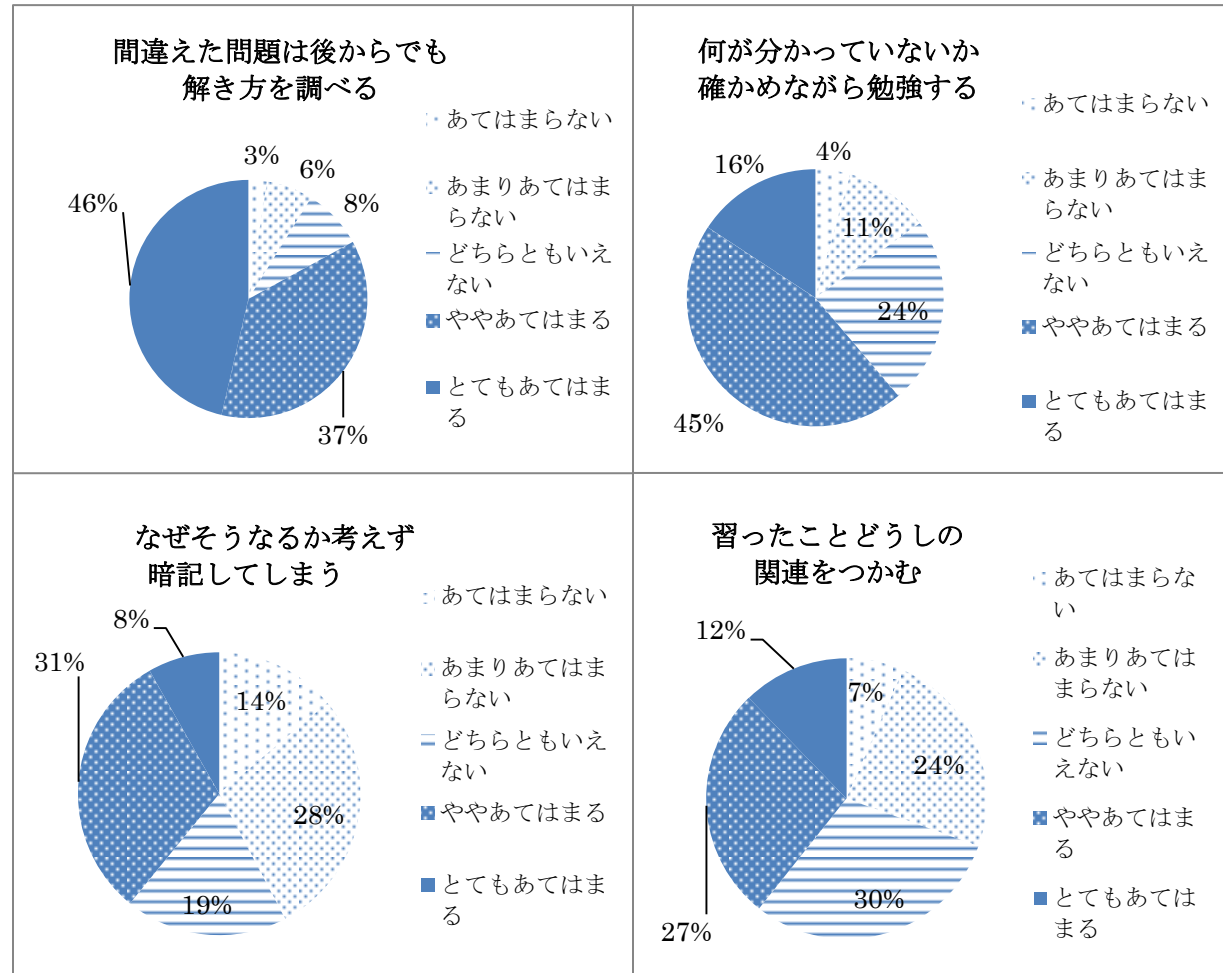
### 始めよう・続けよう「高校生の学習スタイル」

- ★ 帰宅後の学習開始時間を決める。
- ★ 平日1時間以上(目標2時間)・休日3時間以上の家庭学習時間が確保できる生活習慣を確立する。

自由時間やスマホの使い方などを考え、限られた時間を自分で管理する力をつけましょう。

それが、勉強と部活を高いレベルで両立することにつながります。このような努力によって、粘り強さ・勝負強さ・コミュニケーション能力など、多くの力が身に付くことを本校の卒業生達が証明しています。

(2)「深い学び」に向けて (スタディーサポート 4/18 実施の結果より)



上のグラフから、学習方法や学習に対する意識について今後の課題が見えてきます。

- ✧ 間違いから、自分の理解や誤解の在り方や特徴を知ること
- ✧ 理由や背景を探ること
- ✧ 習ったことどうしの関連を単元や教科を超えてつかもうとすること

本校では各教科において「深い学び」を目指した授業を展開しています。基礎・基本をしっかりと身に付けると共に、時には、「習ったことどうしの関連」や「習ったことと自分や社会との関連」にも意識を向けて、各教科の学習にあたりましょう。例えば、別解を考えたり、自分に引きつけて例を挙げたりすることなどです。

最近の大学入試においては、このような思考力を問う新しい傾向の問題も出題されています。

**3 3 2 1人3 2 1通りの進路研究**

4月に行った個人面談で、「進路の考え方が分からず不安」「どんな大学があるのかわからない」という声を多くの生徒から聞きました。これから、進路のLHRや総合学習で職業や進路先について研究をしていきましょう。高校卒業後に進む進路は、1学年3 2 1人3 2 1通りのものになるでしょう。進路が違えば、受験科目も異なります。これは、高校入試との大きな違いです。

2学期には文理選択がありますが、入試科目によって、文理選択や科目選択が制限されることがあります。他にも、取りたい資格がとれるのか、どのような学問なのかなど調べることはいくらでもあります。

インターネットは便利ですが、それだけでは人生における重要な選択の一つである進路選択の情報としては、不十分でしょう。実際に行ってみる、募集要項を取り寄せる、入試問題に目を通す、保護者・担任・先輩に相談する、進路指導室に質問に来るなど、あらゆる手段を駆使して情報を集め、多角的に考えましょう。

**【進路指導の年間計画】**

[1学期]「北高生の学習スタイルを確立する」

- 4月 スタディーサポート・進路適正検査・進路希望調査・面談
- 5月 全統記述模試
- 6月 文理選択についての説明
- 7月 卒業生による職業人講演会 (2回 CA・作業療法士)  
進研総合学力テスト

[夏休み]「大学等に行ってみる」

- 三者懇談 (成績・文理選択)
- オープンキャンパス・高大連携公開講座等に参加しレポート作成

[2学期]「文理決定」

- 9月 スタディーサポート  
文理選択の面談  
進路講演会
- 10月 進研総合学力テスト  
職業人講演会 (マツダ)

12月 三者懇談

[3学期]「2年生に向けて」

- 1月 進研総合学力テスト
- 3月 スタディーサポート

